

ダブルケアに関する調査

— 就労者のダブルケアと健康状態の関連 — へのご協力をお願い



日本では少子高齢化や母親の第一子出生年齢上昇に伴い、子育て中に親などの介護が必要になる人が増えています。子育てをしながら、介護をしている状態を「ダブルケア」と言い、このような状態の方を「ダブルケアラー」と言います。ダブルケアを行いながら働いている方もいらっしゃいますが、どのくらいいらっしゃるかの実態と、そのような状態の方の健康状態は明らかにされていません。

そこで、ダブルケアと健康状態の関連性を明らかにすることを目的として、就労している方を対象としたダブルケアに関する調査を全国健康保険協会宮城支部と宮城大学が共同で行うこととしました。ダブルケアラーの健康状態の特徴が明らかになることで、健康維持や生活習慣病の重症化予防に向けた効果的な支援につながると考えられます。アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

この研究は宮城大学研究倫理専門委員会承認を得ております(承認番号:令和8年度宮城大69号)。

記

- 1. 対象となる方** 全国健康保険協会宮城支部の被保険者で令和7年度の健康診断を受診した方から、無作為で選ばれた25,000人を対象とします。
- 2. 調査方法** 同封されたアンケート用紙、またはwebからアンケートにご回答ください。アンケートの回答にかかる所要時間は15~20分程度です。依頼文と説明文書をよくお読みになり、この調査に協力するか自由な意思でお決めください。調査に回答するか否かは業績評価等には一切影響しません。一度ご回答いただいた後、30日以内であれば同意撤回が可能ですので、全国健康保険協会宮城支部にご連絡ください。なお、アンケート結果はご回答された方の健康診断結果とレセプト情報を紐づけて、アンケートの集計を行います。
- 3. 個人情報の取扱い** 皆様の個人情報は外部へ流出しないように適切に管理します。皆様がこの調査に回答したか否かは所属する企業に伝わることはありません。

以上

お問い合わせ先

- (研究全般に関するお問い合わせ) 全国健康保険協会宮城支部 企画総務グループ
〒980-8561 宮城県仙台市青葉区中央4-4-19 アーバンネット仙台中央ビル14階
TEL: 022-714-6850
- (研究内容に関するお問い合わせ) 研究責任者: 宮城大学看護学群 講師 伊藤佳美
〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1 E-mail: itohy@myu.ac.jp TEL: 022-377-8239
- (研究倫理に関するお問い合わせ) 宮城大学研究倫理専門委員会委員長 武田和久
〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1 E-mail: kenkyu@myu.ac.jp TEL: 022-377-8319

ダブルケアを 知っていますか？



ダブルケアとは、**育児と介護の同時進行している状態**を言います。

そして、このような状態の方を**ダブルケアラー**と言います。

育児や介護をどのように定義するかは、支援施策や調査によって異なります。

広い範囲でとらえると、下記のようになります。

育児

乳幼児から大学生のお子さんを
育てていること



介護

(義)親、(義)祖父母、(義)きょうだい、配偶者などの

- 食事、入浴、着替え、トイレなどの手助け
- 買い物、洗濯、掃除などの家事
- 医療機関を受診するときのサポート
- ケアマネジャーなどの関係機関との連絡調整
- 遠くに暮らす家族の安否確認や心理的サポート
- 経済的支援や金銭管理、など

※介護が必要な方との同居の有無は問いません

ダブルケアラーは、**トイレに行きたい親と、泣いている子どもへの対応など、複数の方から異なる要求に応えなければならないこと**に大変さを抱えていると言われています。一人で抱え込まず、様々な相談機関があります。

行政機関

介護や育児に関する情報が
あります。様々なサービス
を利用する際の申請窓口です。

職場

育児や介護と就労の両立に
向けた支援制度を有して
いる場合がありますので、人事
担当の部署にご相談ください。
また、産業保健師にも相談可能
です。

ダブルケアカフェ

似たような境遇の方との座談
会です。zoomなどのオンラ
インで開催している団体も
あります。

